

ベルボン製品を正しく安全にお使いいただくために

安全上のご注意

必ずお守り下さい

本製品を安全にお使い頂くために、本製品をお使いになる前には必ず本書をお読みいただき、内容をよくご理解のうえ、お読みになった後は大切に保管して下さい。本書ではお客様や他の人々への危険、財産への損害を未然に防止するために、必ずお守りいただくことを次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し説明しています。

**警告** この表示の欄は、「死亡または重傷等を負う可能性が想定される」内容です。

**注意** この表示の欄は、「傷害を負う可能性・又は物的損害が発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し説明しています。

**禁止** このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

**強制** このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

お手入れ・アフターサービス

- ご使用後は湿った布で汚れを拭き取った後、乾いた布でよく拭いて保管して下さい。特に、海岸や温泉地域でのご使用後は、そのままの状態では錆や故障の原因となりますのでお気を付け下さい。
- 雨などで三脚が濡れてしまった場合は、乾いたきれいな布で水分をよく拭き取り、脚部は全段を伸ばしてよく乾かして下さい。脚パイプの奥まで濡れてしまった場合は、一度点検に出すことをお勧めします。お客様ご相談センターまでご連絡下さい。
- 清掃の際は、シンナー等の薬品は使わないで下さい。
- 修理または部品を紛失した場合は、販売店か下記のお客様ご相談センターへ直接お問い合わせ下さい。本製品の性能部品は製造終了後5年を目安に保有しております。(この期間後であっても修理可能な場合もございます)
- 製品や保証について等、疑問に思うことがあれば下記のお客様ご相談センターまでお問い合わせ下さい。

<保証規定>

- 保証期間はご購入日から1年間と致します。
- 修理の際は必ず本保証書を添付のうえ、ご購入店または当社お客様ご相談センターにお申し出下さい。なお、ご購入店または当社お客様ご相談センターにご持参いただくに際しての諸費用は、お客様にご負担願います。
- 保証期間内に発生した自然故障または破損に関しては、無償修理致します。
- 保証期間内でも、次のような場合には有償修理となります。
  - ①本保証書の提示が無い場合。
  - ②本保証書にお買上げ年月日及びご購入店名(印)が無い場合。
  - ③使用上の誤りや不適切な取り扱い(例えば落下)の場合。
  - ④不当な修理や改造による故障・損傷の場合。
  - ⑤火災・水害・地震その他の天災地変による故障及び損傷。
  - ⑥保管上もしくは手入れの不備等による故障及び損傷の場合。

- 保証の対象となるのは製品本体のみで、付属品類(ベルト・ケース等)は保証の対象とはなりません。
- 本製品の故障または破損等に起因する付随的損害(撮影した画像データや動画データの消失、撮影によって得るであろう利益の損失、撮影に要した諸費用や時間、精神的な損害等)の報償には応じかねます。
- 本保証書は紛失されても再発行は致しませんので、大切に保管して下さい。
- 本保証書は日本国内においてのみ有効です。
- 本保証書は以上の保証規定により無償修理を行うことをお約束するもので、これによりお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

警告

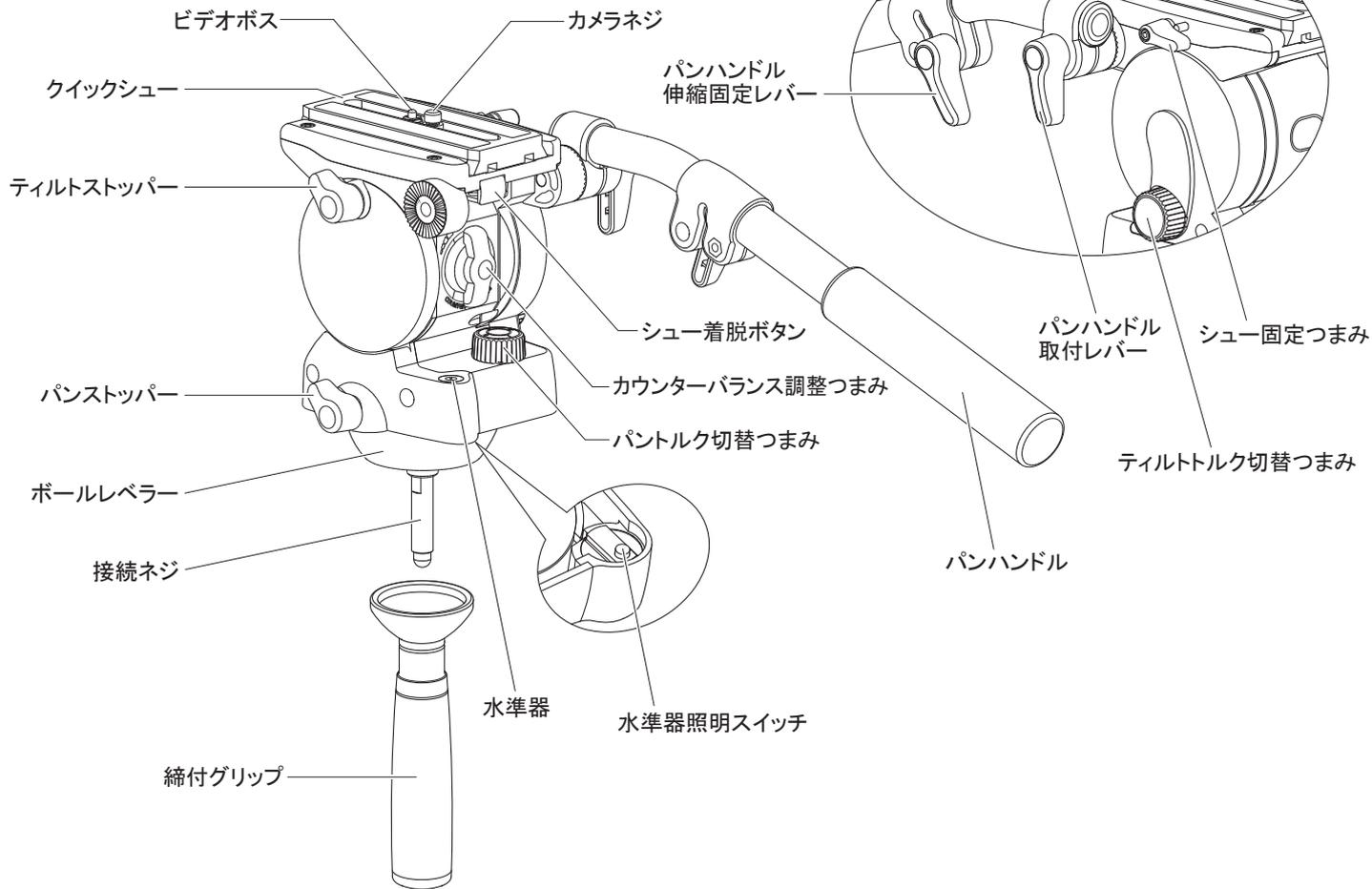
<p><b>!</b> 可変式突等のスパイクを備えた三脚や一脚を持ち運ぶ際は、安全のため必ずゴム石突に変換するか、ケースやレグボッシュット等を使いスパイクがむき出しにならないよう気をつけて下さい。死亡や大ケガの原因となります。電車内等で周囲に人が多い場合は、いっそうの注意が必要です。</p>	<p><b>!</b> 三脚には推奨積載質量が設定されています。必ずその範囲内のカメラを使用して下さい。特に、雲台がセットされた三脚自重の2倍を超えるカメラを使用すると、安定性が極端に悪くなりますのでご注意ください。三脚が転倒し死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またカメラブレの原因にもなります。</p>
<p><b>!</b> カメラを装着したまま脚の伸縮調整や雲台の操作をする際は、必ずカメラを手で支えながらおこなって下さい。三脚やカメラが不意に動きカメラを破損したり、指や手を三脚にはさみケガをする恐れがあります。カメラ形状によってはバランスが取りにくい事もありますので、十分気をつけて下さい。</p>	<p><b>!</b> 三脚の設置・操作については十分注意しておこなって下さい。誤って指や手を挟むとケガにつながります。また各ロック箇所やストッパーが緩んでいないか再度確認して下さい。不意に三脚が縮んで転倒し、カメラが破損する恐れがあります。取扱説明書をよく読み、確かめながら操作して下さい。</p>
<p><b>!</b> 三脚は撮影用の機材です。絶対に三脚の上に腰掛けたり乗ったりしないで下さい。転倒し、死亡や大ケガにつながります。また一脚を杖がわりにして歩行補助の器具にするような行為は、不意に脚が縮み転倒するなどして大変危険です。思わぬ事故につながりますので、絶対におやめ下さい。※強度的にも大変危険です。</p>	<p><b>!</b> ぐらついた台の上や、不整地・傾斜面等の不安定な場所で三脚を使用する場合は、十分に注意して下さい。特に、高位置での使用の場合、頭や足の上などに落下すると死亡や大ケガにつながる恐れがあります。必ず三脚を設置する前に、設置場所や周囲の状況をよく確認して下さい。近くを人が行き来するような場所での使用も注意が必要です。</p>
<p><b>!</b> 三脚や一脚は金属部品やカーボン繊維で構成されておりますので、通電します。高圧線等、電気が通っている物の近くでは使用を避けて下さい。また落雷の恐れがある場合は絶対に使用しないで下さい。そのような場所では撮影をやめ、すみやかに避難して下さい。</p>	<p><b>!</b> 三脚や一脚を、小さなお子様の手の届く場所に設置・保管しないで下さい。あやまって指や手をはさんだり、三脚が倒れて死亡や大ケガにつながる恐れがあります。またベルトやストラップのある製品については、お子様の首に巻きついたりしないよう、しっかり確実に管理して下さい。</p>
<p><b>!</b> 三脚にカメラを取り付けたまま、放置してその場を離れることや、三脚を場所取りのために利用することはお避け下さい。他の人や車の通行の妨げになったり、ぶつかってケガをさせてしまったり、倒れてカメラが破損する恐れがあります。</p>	<p><b>!</b> 三脚の使用時は、3本の脚を十分に開いて下さい。脚の開きが不十分だと、不意に三脚が倒れケガや破損の原因となります。また不安定な状態での使用は、カメラブレの原因にもなります。</p>

注意

<p><b>!</b> 三脚や一脚に、カメラを装着したままの移動は避け下さい。予想以上の力が加わった場合、カメラが落下する恐れがあります。特に、カメラを装着したまま三脚や一脚を肩に担いで移動すると、カメラが視界に入らないので大変危険です。移動時は必ずカメラを外して下さい。</p>	<p><b>!</b> 製品の使用温度範囲は0℃~40℃です。この範囲を超えると、高温下ではオイル漏れをおこしたり、低温下ではパン・テイル動作が重くなったりして、十分な性能が発揮されない場合があります。高温多湿な場所や直射日光が当たる場所、自動車内等には決して製品を放置しないで下さい。</p>
<p><b>!</b> 各ストッパー・ネジやハンドル棒・固定レバー等は、必要なとき以外は確実に締めてご使用下さい。ネジやレバーが緩んでいると、三脚の転倒やカメラ破損の原因となります。また、緩んだ状態で移動すると、ネジ等を落として紛失する可能性があります。</p>	<p><b>!</b> 冬場の撮影や寒冷地での使用においては、金属部分が凍結する恐れがありますので、素手では操作しないで下さい。カメラゴングローブ等の、撮影用手袋を用いることをお勧めします。</p>
<p><b>!</b> 三脚や雲台各部へのオイル・グリス等の補給はしないで下さい。十分な性能が発揮されなくなる場合があります。可動部の動きが悪くなってきた場合は、お客様ご相談センターまでご連絡下さい。</p>	<p><b>!</b> 製品に水や砂が付いたまま使用を続けると、可動部から中に入り故障の原因となります。汚れてしまった場合は、きれいな布でよく拭き取って使用して下さい。脚パイプが濡れてしまった場合には、必ず拭いた後によく乾かして下さい。</p>
<p><b>!</b> 三脚や一脚を壁に立て掛けたり、脚を閉じた細身な状態で立ておくこと、不意に倒れる恐れがあります。できるだけ横にして(寝かせて)置いて下さい。</p>	<p><b>!</b> 長期間使用しなかった場合や、大切な撮影の前には、必ず事前に各部を点検してから使用して下さい。また高性能を保つため、1~2年ごとに定期点検にお出しいただくことをお勧めします。その際はお客様ご相談センターまでご連絡下さい。</p>
<p><b>!</b> 製品の水準器は、あくまで撮影の目安として装備されているものです。計測用途や業務用途での精密使用には適していませんのでご注意ください。</p>	<p><b>!</b> 雲台の取外しが可能な製品の場合、雲台を交換することができます。雲台(三脚)の全てのストッパーやハンドル棒をしっかりと締め、雲台全体を反時計回りに回すと外れます。この時、雲台に顔を近づけているとハンドル棒などにぶつかり大変危険です。十分注意して作業して下さい。</p>
<p><b>!</b> 製品の分解・改造等をしてしないで下さい。異常動作により、ケガや破損の原因となります。また分解・改造をした製品については、たとえご購入直後でも正規保証を受けられなくなりますので、ご注意ください。</p>	<p><b>!</b> 製品の分解・改造等をしてしないで下さい。異常動作により、ケガや破損の原因となります。また分解・改造をした製品については、たとえご購入直後でも正規保証を受けられなくなりますので、ご注意ください。</p>

## 各部の名称

このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



FHD-81			
カメラ台	108 × 43mm	クイックシュー	QB-F81
高さ	171mm(締付グリップ除く)	クイックシュースライド幅	±40mm
ボールレベラー径	75mm	カメラネジ	UNC1/4(ビデオボス付き)
質量	2750g	カメラネジスライド幅	76mm(クイックシュー内)
推奨積載質量	10kg	カメラネジ(スペア)	UNC1/4及びUNC3/8(クイックシュー取付面に装着)
接続ネジ	M10	パントルク切替	フリー及び3段階
パンハンドル長さ	350~550mm	ティルトトルク切替	フリー及び3段階
パンハンドル位置	左右対応	カウンターバランス範囲	4.5~10.5kg(重心高100mm時)
水準器照明用電池	CR1220	カウンターバランス切替	無段階

※記載数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。  
※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。

(修理受付)

お客様ご相談センター

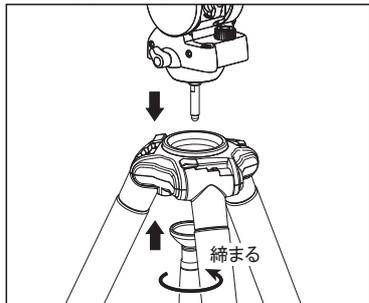
〒408-0205  
山梨県北杜市明野町浅尾新田12  
電話: 0551-25-6155  
E-Mail: jpsupport@velbon.com

※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認下さい。

保証書

商品名	<b>FHD-81</b>	お客様	様
お買い上げ年月日	平成 年 月 日 西暦 年 月 日 保証期間1年(お買い上げの日から)	住所	
ご購入店名		電話	
印		本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間、当保証規定により保証サービスが適用されます。	

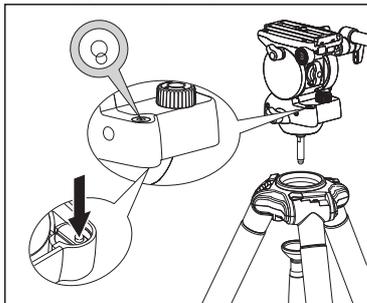
### 1-1.三脚への取り付け



はじめに、雲台下部に締付グリップが付いている場合は、緩めて取り外して下さい。雲台を三脚に静かに乗せ、三脚の下から締付グリップを回して取り付けます。

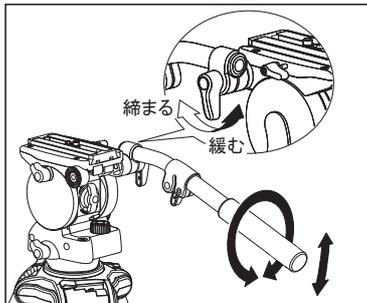
△ 本製品は大変重たく、またボールレベラー部は締め付けるまでは不安定なので、取り付け時は十分注意して慎重におこなって下さい。

### 1-2.三脚への取り付け



水準器の気泡が円の中に入るように、雲台を動かします(水準器照明スイッチを押すと、水準器を10~15秒間点灯させることができます。点灯中にスイッチを押すと照明は消灯します)。水平がとれたら締付グリップをしっかりと締め、確実に固定して下さい。

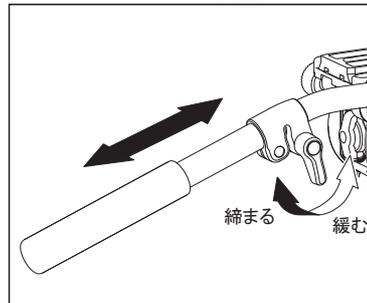
### 2-1.パンハンドルの調整



パンハンドルを所定の位置に取り付け、使いやすい角度に調整後、パンハンドル取付レバーをしっかりと締め、固定します。

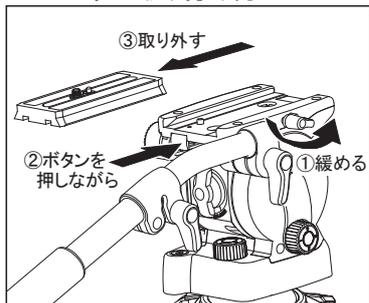
※パンハンドルは左側にも取り付け可能です。

### 2-2.パンハンドルの調整



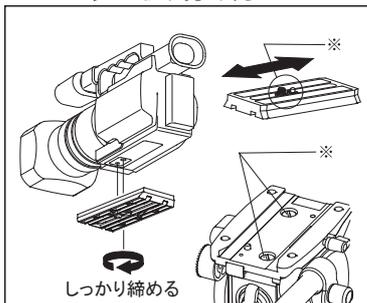
パンハンドル伸縮固定レバーを緩めると、パンハンドルを伸ばすことができます。使いやすい長さに調整後、パンハンドル伸縮固定レバーをしっかりと締め、固定します。

### 3-1.カメラの取り付け方



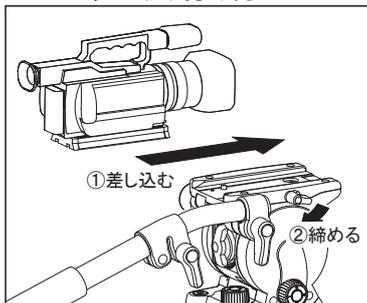
①シュー固定つまみを緩め、②シュー着脱ボタンを押しながら、③クイックシューを雲台の手前側(着脱ボタンのある側)にスライドさせて外します。

### 3-2.カメラの取り付け方



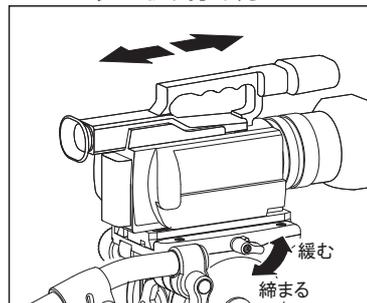
カメラネジを任意の位置に設定し、カメラ側の各ネジ穴に合わせた後、コイン等でカメラネジを回して締め、確実に固定して下さい。  
※カメラネジはビデオポストと共にスライドしますのでカメラの前後位置の微調整にご使用下さい。  
※スベアのカメラネジはクイックシュー取付面に2種類収納されています。必要に応じてコイン等で取り外してご使用下さい。

### 3-3.カメラの取り付け方



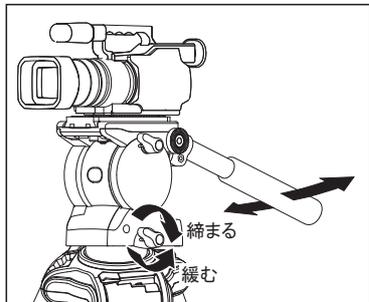
①シュー固定つまみを緩めた状態で、クイックシューを雲台の手前側(着脱ボタンのある側)から位置を合わせてゆっくり差し込みます。クイックシューがズレていないことを確認しながら、「カチン」と音がするまで確実に差し込んで下さい。②取り付け後、シュー固定つまみをしっかりと締め、固定します。

### 3-4.カメラの取り付け方



取り付け後にカメラが前後に傾く場合は、カメラを手で支えながらシュー固定つまみを緩め、クイックシューの位置を前後にスライドさせて調整し、再度シュー固定つまみをしっかりと締め、固定します。

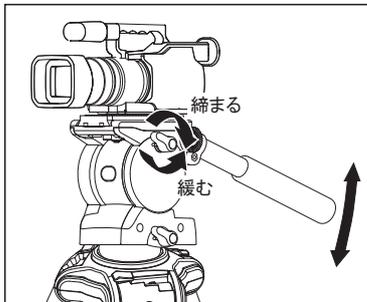
### 4-1.パンニング・ティルトリング



パンストッパーを緩め、パンハンドルを左右任意の方向へ動かします。ストッパーは必要に応じてしっかりと締め、固定下さい。

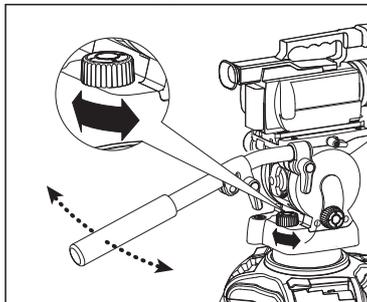
△ 各ストッパーを「半締め」の状態で使用しないで下さい。故障の原因となります。

### 4-2.パンニング・ティルトリング



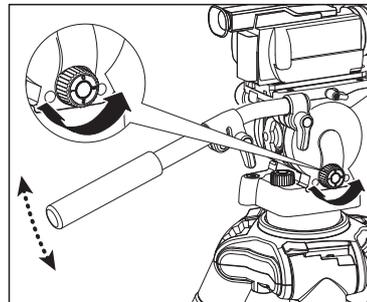
ティルトストッパーを緩め、パンハンドルを上下任意の方向へ動かします。ストッパーは必要に応じてしっかりと締め、固定下さい。

### 5-1.トルクの切替



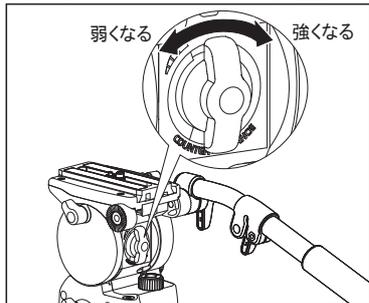
パンとティルトのトルクは、4段階の切り替えが可能です。目盛の数字が大きくなるほど、トルクは強くなります(0はフリー状態)。パントルク切替つまみを回転させて、最適なトルクの目盛に合わせます。目盛切り替え後、パンニングさせてトルクの強さが変化したことを確認します。

### 5-2.トルクの切替



ティルトトルク切替つまみを回転させて、最適なトルクの目盛に合わせます。目盛切り替え後、ティルトリングさせてトルクの強さが変化したことを確認します。撮影に応じて、各トルクを切り替えて下さい。

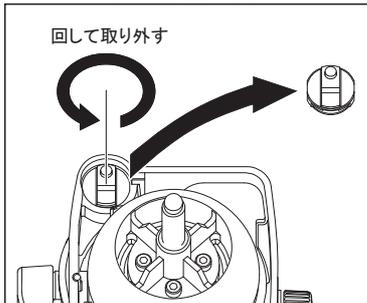
### 6.カウンターバランスの調整



内蔵スプリングの力を利用して、搭載したカメラをいつも中央に戻すように働く機構のカウンターバランスは、カメラを前後どの角度に傾けてもその位置で保ってくれます。調整つまみを回してスプリング強弱を調整し、最適なバランスでご使用下さい。

△ カウンターバランスの調整は、雲台を水平状態にし、カメラを手で支えてバランスの確認をしながら慎重におこなって下さい。少しずつ変化します。

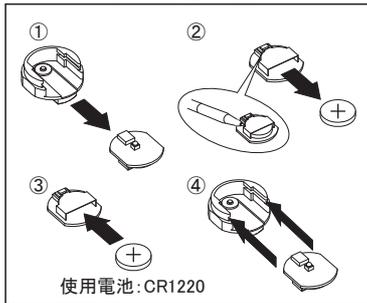
### 7-1.水準器の電池交換



水準器の電池を交換する場合は、雲台を三脚から外しておこなって下さい。外した雲台を逆さにし、水準器照明ホルダーをコイン等で回して緩め、外します。

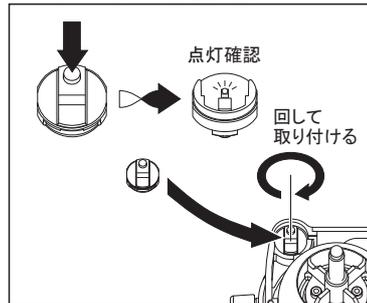
※水準器の電池交換は細かい作業となりますので、当社お客様ご相談センターに修理とて出していたくことをおすすめします。

### 7-2.水準器の電池交換



①水準器照明ホルダーから照明基板を取り外し、②照明基板から電池を取り外します(電池の取り出し口の反対側から、先端の細い道具を使うとスムーズに押し出すことができます)。③新しい電池を金属の電池カバー側にプラス面がくるようにして取り付け、④元のように照明基板を水準器照明ホルダーに組み込みます(ホルダーの水準器照明スイッチボタンを紛失しないようご注意ください)。

### 7-3.水準器の電池交換

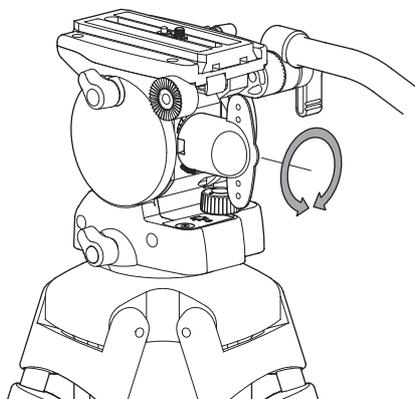


水準器照明ホルダーの水準器照明スイッチを押して、点灯することを確認したら、元通りに水準器照明ホルダーを雲台に取り付け、確実に締め付けて下さい。

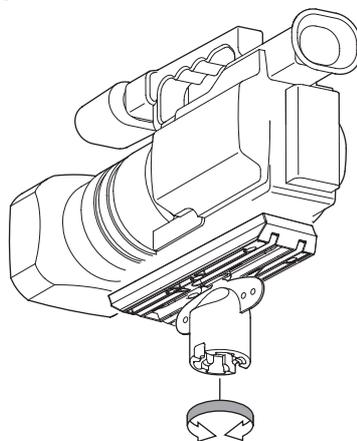
※点灯しない場合、電池がしっかりと取り付けられているか、再度確認して下さい。

## カウンターバランス補助ツマミの使い方

カウンターバランス調整ツマミをより回しやすくなります。



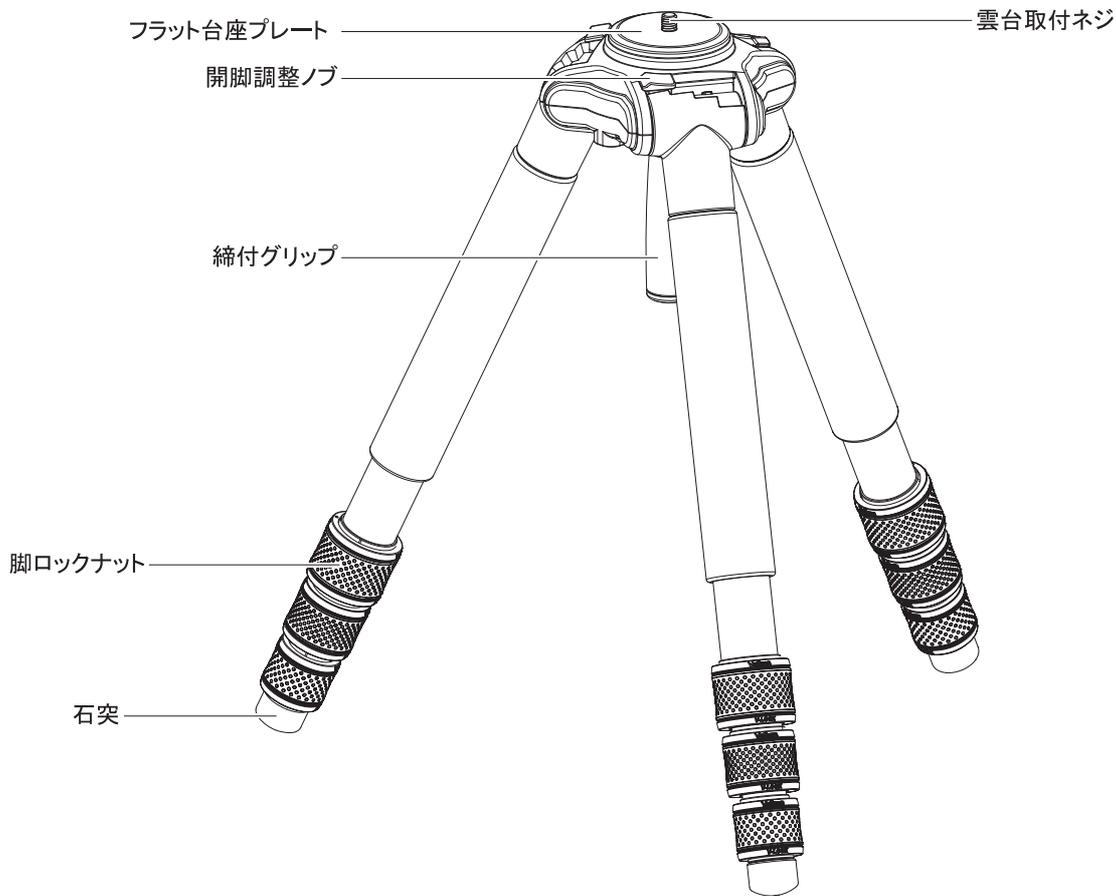
カウンターバランス調整ツマミにカウンターバランス補助ツマミをはめ込みます。  
カウンターバランス補助ツマミを左右に回転させて、最適なバランスに調整してください。



カウンターバランス補助ツマミのプレート部分は、カメラネジのネジ回しとしてもご利用頂けます。

## 各部の名称

このたびはベルボン製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。



Pro Geo V840BW	
雲台	(雲台別売)
全高	1510mm
エレベータースライド*	—
最低高	180mm
縮長	530mm
脚径	36/32/28/25mm
段数	4段
質量	2670g
推奨積載質量	10kg

※記載数値は平均的な値です。製品は組み合わせ部品で構成されておりますので、記載数値と若干異なる場合があります。  
※製品改良のため、予告なしに仕様・デザイン・諸元等を変更することがありますのでご了承ください。

(修理受付)

お客様ご相談センター

〒408-0205

山梨県北杜市明野町浅尾新田12

電話: 0551-25-6155

E-Mail: jpsupport@velbon.com

※保証規定につきましては、保証書裏面をご確認下さい。

保証書

商品名 Pro Geo V840BW

お買い上げ 平成 年 月 日  
年月日 保証期間1年(お買い上げの日から)

ご購入店名

お客様

様

□□□□-□□□□

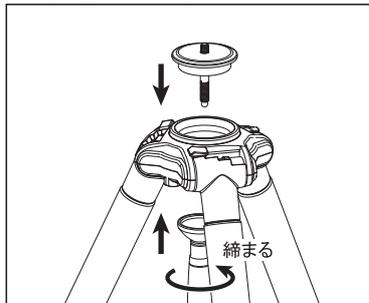
住所

電話

印

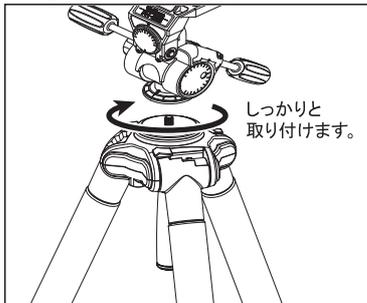
本製品が万一故障した場合は、ご購入日から満1年間、当保証規定により保証サービスが適用されます。

1-1.雲台の取り付け方



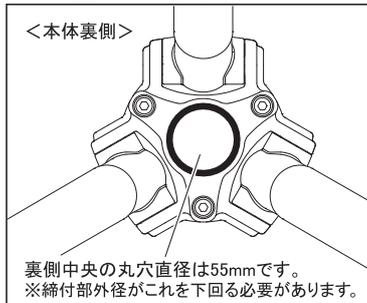
はじめに、フラット台座プレートがしっかり固定されていることを確認して下さい。緩んでいる場合は、本体の下から締付グリップを回して、しっかり確実に固定して下さい。

1-2.雲台の取り付け方



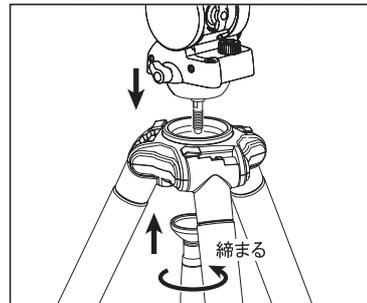
雲台(別売)を取り付けるには、雲台のハンドル棒や各ストッパー類、及び三脚の締付グリップをしっかりと締め、雲台底面の取付ネジ穴と三脚側の取付ネジを確実に合わせて、雲台全体を上図矢印方向にゆっくり回し、しっかりと固定します。  
※雲台取付ネジ=UNC3/8(太ネジ)

2-1.大型ビデオ雲台の取り付け方



ボールレベリングを搭載している大型のビデオ雲台を取り付ける場合は、取付前に必ず、雲台付属の締付グリップ(ボールクランプ)の形状をご確認下さい。本製品は本体の下から上図丸穴を通してボール部を締め付ける構造のため、締付部外径が丸穴より小さい必要があります。

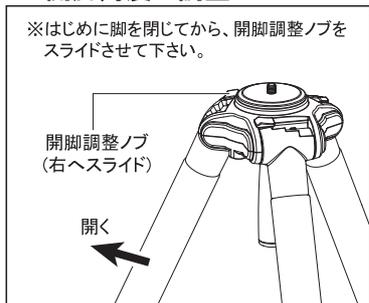
2-2.大型ビデオ雲台の取り付け方



左記の大型ビデオ雲台に付属している締付グリップ(ボールクランプ)を使って、しっかりと固定して下さい。

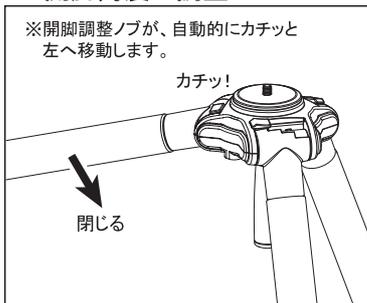
△ 本製品付属の「締付グリップ」は、フラット台座プレートに合わせたネジ径(M10)になっています。雲台の締付・固定については、雲台に付属の締付グリップ(ボールクランプ)をご使用下さい。

3-1.開脚角度の調整



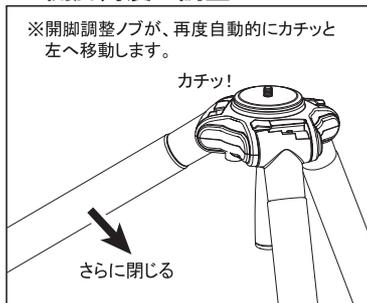
脚を閉じた状態で、開脚調整ノブをカチッと止まる位置まで右にスライドし、脚を一杯に開くとフル開脚が可能です。  
※本製品のフル開脚は不整地での調整用となります。

3-2.開脚角度の調整



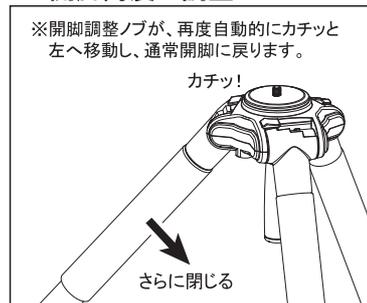
フル開脚した脚をゆっくりと閉じていくと、開脚調整ノブが自動的にカチッと左方向へスライドします。この位置がセミ開脚①となります。

3-3.開脚角度の調整



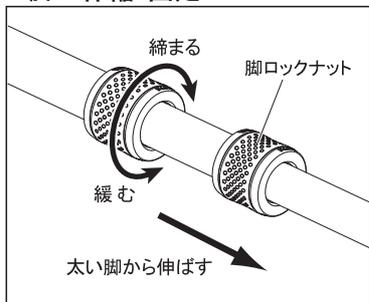
さらに脚を閉じていくと、再び開脚調整ノブが自動的にカチッと左方向へスライドします。この位置がセミ開脚②となります。

3-4.開脚角度の調整



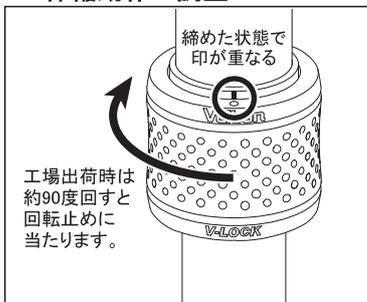
さらに脚を閉じていくと、再び開脚調整ノブが自動的にカチッと左方向へスライドし、標準開脚に戻ります。なお、開脚角度は各々の脚で自由に設定することが可能です。

4.脚の伸縮・固定



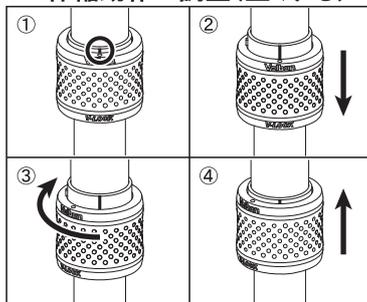
脚を伸ばす際は上の段から順に伸ばします。縮める際は下の段から順にしまして下さい。なお、脚には目盛りがふられています。三脚をいっばいまで伸ばさずに使う場合、目線位置等の目安とすると便利です。  
※目盛りはあくまで目安です。精密に測られているわけではありません。

5-1.伸縮動作の調整



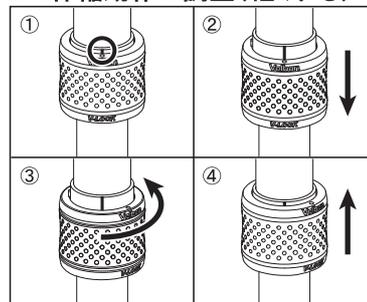
脚ロックナットには、緩め過ぎ防止の回転止めがあります。工場出荷時は、脚ロックナットを約90度回すと適正に伸縮・固定がおこなえるようになっています(締め込んだ際に脚ロックナットの丸印と、脚側の白い線が重なります)。この脚ロックナットの「回転幅」を変えることで、伸縮重さを調整することができます。

5-2.伸縮動作の調整(重くする)



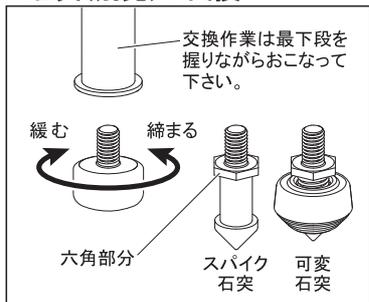
※事前に下段脚を少し引き出して下さい。  
①脚ロックナットを締め込んだ状態で、②脚ロックナットを下へ押し下げずらします。③そのまま下げながら上図矢印方向へ若干回し、④上へ押し戻します。これで伸縮動作が重くなります(脚ロックナット操作時の回転幅が減ります)。

5-3.伸縮動作の調整(軽くする)



脚の伸縮動作を軽くするには、左記項目③において反対側に脚ロックナットを回します。これで伸縮動作が軽くなります(脚ロックナット操作時の回転幅が増えます)。戻す際は、逆の手順をおこなして下さい。 ※調整しすぎると、極端に伸縮動作が重くなったり、なかなか固定できなくなりますので、ご注意ください。

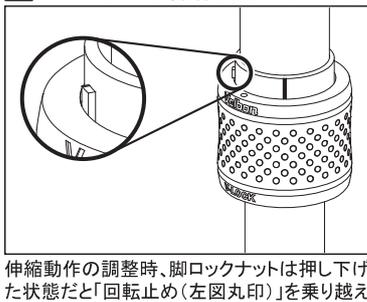
6.石突(別売)の交換



石突を交換するには、初期仕様のゴム石突を手で回して外し、別売石突付属の工具で六角部分を締まる方向に回して取り付けて下さい。

△ 脚パイプ内部の「空回り防止機構」が破損する恐れがありますので、極端に強く締め付けられないようご注意ください(必ず最下段を握って作業して下さい)。

△ 脚ロックナット操作におけるご注意



※脚ロックナットを回し、回転止めの部分を複数回上記のように乗り越えさせて緩めていくと分解することができますが、内部パーツを紛失したり元通り組めなくなる恐れがありますので、分解清掃等についてはお客様ご相談センターへご連絡下さい。

△ 回転止めを超えて緩めすぎってしまった場合は

